

令和元年度 自己評価結果公表シート

認定こども園 下関短期大学付属第一幼稚園

1. 園の教育目標

・教師や友達との信頼関係の中で安定感を持って園生活を送りながら、自分で考えて行動し、主体的に活動する子どもを育てる。

2. 今年度の重点目標

・自己点検、自己評価を実施し、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育・保育の質の向上や施設・設備の改善に主体的に取り組んでいく事を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
指導計画の作成と評価（週案・日案） ・子どもの実態を十分把握し、発達段階を踏まえながら立案しているか	・年間計画や期案の見直しを行い、日案については加筆や訂正、さらに前担任との引継ぎもしっかり行い、子ども達の実態に応じたものになるよう努めている。 ・子どもの様子をよく観察しながら好きなもの、興味のあるもの、興味を持ってほしいもの等、子どもの実態を見ながら指導計画を立てるようにしている。
指導計画の作成と評価（行事） ・それぞれの行事について、子どもの発達段階を考慮し、子どもの実態やねらいなどについて教職員同士が話し合い、見直しを行っているか	・行事前には話し合いの場を設け意見交換している。行事の内容については、子どもの発達や興味に合わせたねらいや内容を設定し、取り組んでいる。
教育環境の構成 ・子どもを温かく受け入れるような環境をつくり、人とかかわる力が育つように配慮をしているか	・様々な経験ができるように環境を構成し、子ども達同士で考え、触れ合いを楽しめるようにしている。
幼児の観察と理解 ・子どもの話を聞き、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか	・子どもからの問いかけにはしっかり耳を傾け気持ちに寄り添うことで安心して生活できるようにしている。 また、行動の変化にも気を付けている。 ・他のクラスの様子においても共通理解をすることで園全体の子ども達を見守ることができている。

<p>教職員同士の協力・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものことについて常に教職員間で話し合い、クラスをこえて情報を共有しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になることは、伝え合い、助言したりしている。他のクラスの子どもの保護者からの伝言や依頼についても担任や担当者に伝えるように努めている。 ・勤務体制により登園・降園時に担任が不在でも漏れがないようメモを残すなどして伝えるようにしている。
<p>研修・研究への意欲、態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育については課題を持って計画と反省を行い、そこで得た悩みや学びを他の教師と話し合う事ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・週案・日案においては、日々の反省を記録し、振り返るようにしている。また、上司からのアドバイスを真摯に受け止め、その後の保育に活かしている。 ・課題がある時は反省をもとにどのように保育すればよいか上司に助言してもらうこともある。
<p>安全への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉かけを行っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の遊びの様子をしっかりと見守り、遊具の使い方などを知らせている。また日々の安全点検は念入りに実施している。 ・戸外遊びの時は、全体に目が届くようにし、教師間で連携を取りながら見守るようにしている。
<p>安全管理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解を持てるよう取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己判断はせずに園長をはじめ他の職員と連携を取りながら対応をしている。感染症については、クラスの人数を把握するとともに予防対策に努めている。 ・共通理解が持てるよう教職員間で話し合い、子ども達に必要な指示や対応ができるようにしている。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだよりで日々の保育の様子を知らせ、個々の子どもの様子を保護者に直接話したり、連絡帳を使って伝えたりしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、園だより、クラスだよりを通して保護者に情報を知らせている。特にクラスだよりでは、取り組みや子ども達の様子を保護者に伝えている。 ・個々の子どもの様子は、降園時や懇談会で直接話すようにしている。また、連絡帳も活用している。
<p>情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがや病気については、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因を説明し、病院へ搬送するなどの対処をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我等の状況については、すぐに上司に相談し、他の教職員からも情報収集して保護者に適切に対応できるようにしている。 ・体調の変化等で、連絡が必要な場合は、速やかに保護者に連絡を取っている。

<p>地域への開放と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 園が持つ専門的な技術や情報、環境、設備などを地域に開放・提供し、子育て支援に取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> 未就園児対象の体験保育を計画し、通信なども発行し、親同志、子ども同志の交流の場となるように努めている。
---	---

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の作成について 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の反省を活かし、計画を早めに立て、年間行事に対しては、余裕をもって取り組んでいきたい。 子ども一人ひとりの様子を学期ごとに記録にまとめ、年間を通して年齢に応じた保育、関りができるように努めたい。
<ul style="list-style-type: none"> 研修・研究への意欲、態度 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動に追われ、参加する研修などが限られてしまった。研修会の復命について、報告する場がなかなか設けられないので、職員会等を利用して共通理解していく必要があるであろう。
<ul style="list-style-type: none"> 安全への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 教師は常に、安全には配慮しながら子供を活動させているが、それでも怪我は付き物である。すぐに手当てをするが親へ伝えていないこともある。連絡帳に記載できない時は降園時や終了後電話で連絡している。又、視診もしっかり行っていきたい。
<p>保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスの事だけでなく園全体の事を把握し、共通理解し、保護者からの質問に回答できるようにしていきたい。
<p>教員間の連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教員が協力し合い、その日の活動がしやすく、全員が動きやすい、子どもにもわかりやすいように、子どもへの援助ができればと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 特別に支援を必要とする子どもには、全体指導の後、個別に指導する必要がある。ただその子に付きっきりにはなれないので状況を見ながら対応していく必要があるであろう。
<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> AEDの使い方を研修する必要があるように思う。